

滝沢ダム建設事業が完了しました

滝沢ダムにおいては、平成20年4月から管理を開始し治水・利水・発電といった機能を既に発揮しておりますが、一方で継続して実施してまいりました建設事業（斜面对策工事）が、平成23年3月末にて完了しました。貴重な土地・財産を提供していただいた方々を始め多くの関係の皆様方のおかげでこの日を迎えることができました。改めてお礼を申し上げます。



滝沢ダムは、荒川水系中津川に建設された重力式コンクリートダムですが、荒川水系においては最大の貯水容量となります。施工に際しては水資源機構でこれまでに培った施工技術の集大成として、各種施工の合理化とコスト縮減に努めるとともに、国立公園内での施工であることから環境保全にも積極的に取り組んできました。また、平成15年2月には「地域に開かれたダム」に指定され、ダム及び周辺の整備を行っています。最近では、付替道路として施工した^{らいでんとどろきばし}雷電廿六木橋（ループ橋）が、2010 土木学会デザイン賞最優秀賞を受賞するなど地域の資産ともなっています。

今後も、ダムの役割を確実に果たしていくとともに、地域の人々に親しまれ、地域活性化に貢献するダムとなりますよう、職員一同努力してまいりますので、引き続き滝沢ダムをよろしくお願いいたします。

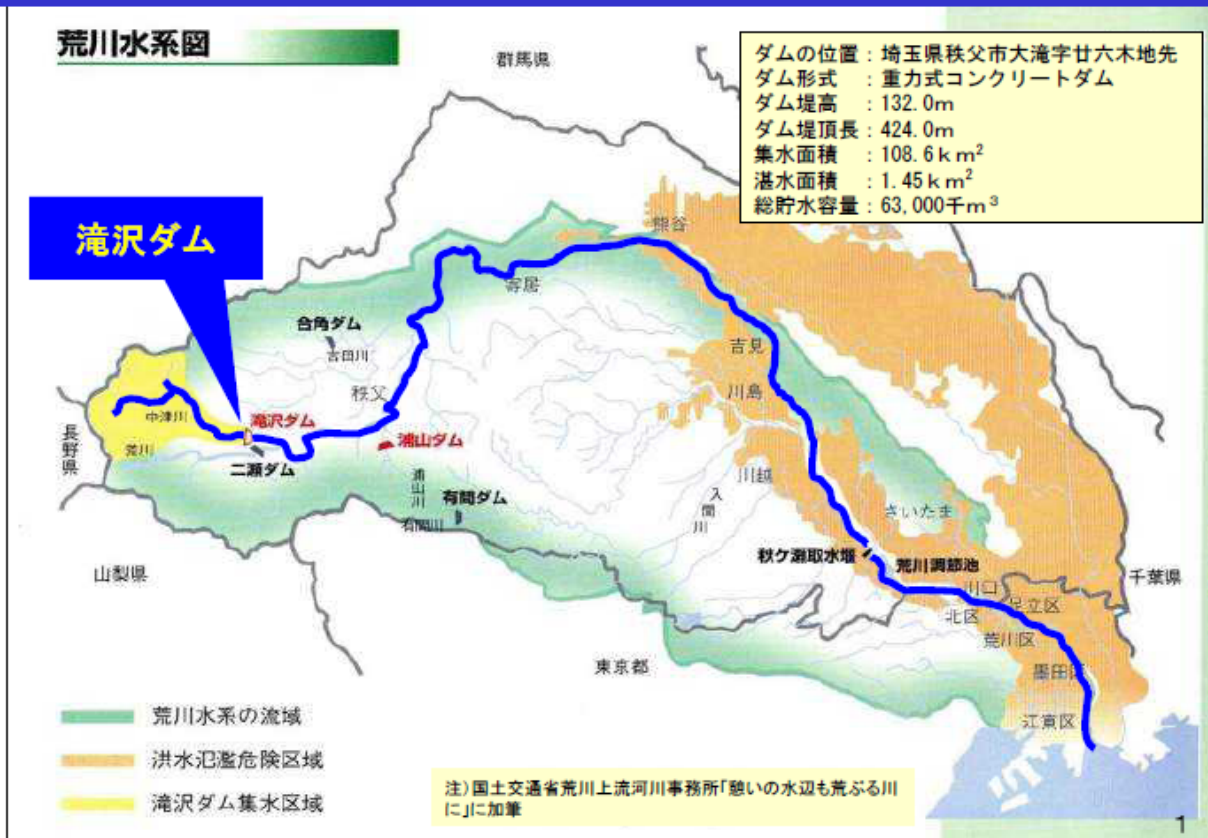


ウルル フルル

平成23年4月1日

独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所

滝沢ダムの位置等



滝沢ダムの計画の概要

(1) 目的

● 洪水調節

滝沢ダムの建設される地点における計画高水流量1,850m³/sのうち、1,550m³/sの洪水調節を行う。

● 流水の正常な機能の維持

荒川沿岸の既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進を図る。

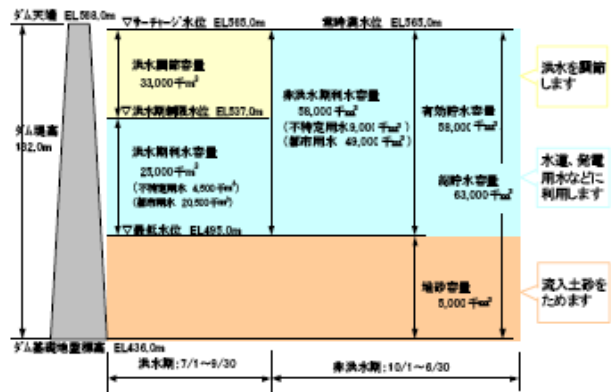
● 水道用水の供給

埼玉県 最大3.74m³/s
 東京都 最大0.86m³/s

● 発電

東京発電(株)が最大出力3,400kwの発電を行う。

(2) 貯水池容量配分図



【参考 2】 写真



クレストゲートからの放流（空撮）



クレストゲートからの放流



満水の奥秩父もみじ湖（平成20年3月）



雪化粧の滝沢ダム



滝沢ダム周辺（空撮）



左岸広場（後方は滝沢ダム管理所）



右岸より天端を望む



天端



雷電廿六木橋



雷電廿六木橋（夜景）



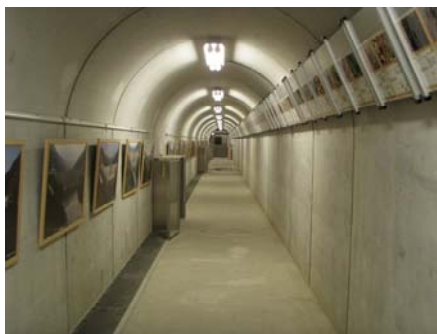
盆栽山地区斜面对策工事箇所



滝ノ沢中央地区斜面对策工事箇所と滝ノ沢集落跡



下流広場



ダム内部（監査廊）



浜平望郷広場

※エレベータでダム内部の見学ができるように整備していますが、節電を図るため開放は延期しています。開放できるようになりましたら、ホームページ等でお知らせいたします。